

令和6年度 産業廃棄物税充当事業 実績報告書

事業名：	循環型社会に貢献できる産業人材育成事業（古川工業高）
事業実施期間：	平成20年度から令和6年度
担当課室名：	高校教育課
担当班名：	キャリア教育班
TEL：	022-211-3625
e-mail	E-mail : ko-career@pref.miyagi.lg.jp
URL：	URL : https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/koukyou/car-top.html

1 事業の目的

産業廃棄物の再利用・有効利用を含めた、循環型社会に貢献できる技術者・技能者を育成する。また、廃棄物の発生抑制や、リサイクル産業の振興並びに循環型社会について、専門高校生として取り組むことのできる実践としての基礎的研究を各関係団体からの支援を受けて行う。

2 当該年度の実施事業の概要・実績

解体予定の木造建築物の部材を採取し、再利用可能な材料の補強方法を研究しながら、規格材として加工し、木工機械を活用した製作を行った。また、今年度は校内で使用されていた学習机の天板を加工し再利用した。製作物は木製の案内板や学校内の環境美化物品、木製のプランターなどに取り組んだ。文化祭では3R啓発活動の紹介を行い、生徒だけではなく来校者への産業廃棄物の再利用・有効利用についてPRした。産業廃棄物の処理方法やリサイクル方法を学ぶために、リサイクル施設見学を実施した。

- ・校内で使用する木製の案内板の製作【7枚】
- ・校内で使用するゴミ箱
- ・花台・ボール籠
- ・賽銭箱
- ・ハンドボール作戦盤
- ・木馬
- ・校旗ケース
- ・木製玩具の製作・提供【積み木セット8個】
- ・端材を活用した木製ストラップ【50個】
- ・木製ホワイトボードの製作【20枚】
- ・木製プランターの製作・提供【20個】
- ・加工段階で出るカンナくず利用（県農業高校へ家畜の敷きわら材として提供）

事業取り組みに際して、津山町林業組合、宮城県解体工事業協働組合、地元の大工、木工建具職人、専門的知識の学習と作業体験及び技術・技能指導を受けた。

産業廃棄物の処理状況等、外部講師の指導による設計・製作工程を通じた実践的学習で、地球環境に配慮した今後の産業活動に関与できる人材の育成に努めた。

3 当該年度の実施事業の成果

- ・柱換算（105mm角）にして約20本分を再使用・再利用することができた。
- ・製作物を大崎市役所や中学校に寄贈し、生徒が地域社会へ貢献する機会を創ることができた。
- ・木工作業を通じて、木材の再利用方法について学ぶとともに、木材加工の技術を習得し、設計や製作に対する理解を深めることができた。
- ・端材や解体木材でも製材を施すことで木工製品として再活用できることを学び、生徒のリサイクルに対する意識が向上した。

- ・リサイクル施設見学では解体後の資源の利用について学ぶことができた。工業高校ではものづくりについて学習していくが、産業廃棄物の処理についても重要な学習となる。施設を見学し実践的な学習を行うことで、環境に配慮した産業生産活動に貢献できる人材の育成を図ることができた。
- ・地域の建設廃棄物処理業者、大工、木工職人との協力体制を構築することができた。
- ・生徒へのアンケート結果では、建築物を建てるだけでなく、建設後の解体及び廃棄物の処理について学ぶことができ、リサイクルの意識が高まったと記載されている。

4 今後の展開

- ・各種団体や地域企業と構築した連携・協力体制を活用して、継続的な人材育成を図りながら、解体材料の提供や各種現場見学・実習場所等の確保に努めたい。
- ・今後も廃材を活用した木工製品を地域社会に役立てるため、町内会などの各種団体や中学校・小学校・幼稚園・保育園といった教育機関へ寄付し、有効に活用してもらえよう関係機関と調整を進めていきたい。また、寄せられた要望を精査し、製作可能なものを提供できるように努めていきたい。

5 廃棄物の削減・リサイクル、適正処理の促進の効果等を示す指標の数値

(指標：関連授業時数)

令和4年度	令和5年度	令和6年度
295	271	240

6 事業費の推移

単位：千円

令和4年度	令和5年度	令和6年度
2,256	2,261	2,325